

てんじんまえ
天神前遺跡

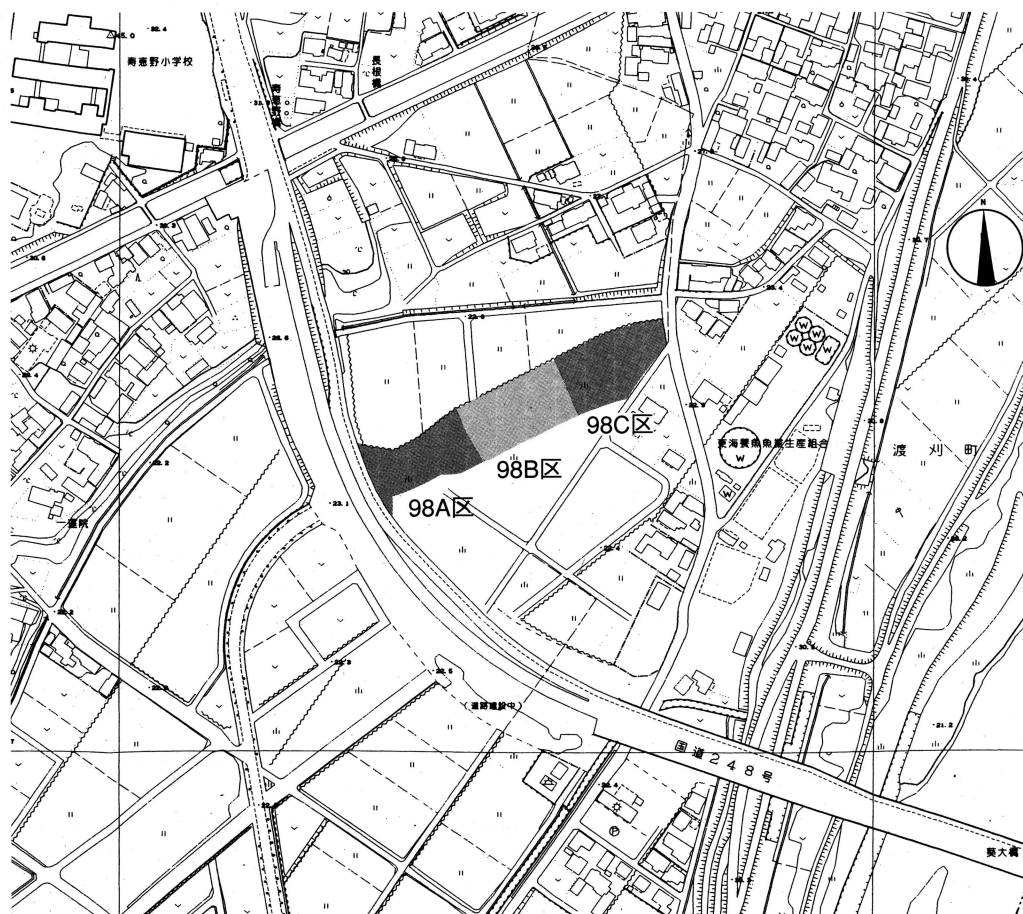
調査の経過 天神前遺跡は、豊田市鴛鴨町天神前に所在し、古墳時代から戦国時代までの複合遺跡である。遺跡は、碧海台地の段丘面より一段下がった、矢作川の中流域の沖積平野に所在する。南西部には郷上遺跡が、北東部には水入遺跡が隣接する。標高は21～22mを測る。

発掘調査は、国道248号線延伸工事の事前調査として、愛知県土木部より愛知県教育委員会を通じた委託事業として実施した。本年度は8,000㎡をA B Cの3調査区に分け平成10年4月より平成11年3月まで調査した。

調査の概要 調査の結果、天神前遺跡は5期に分けられる。上面の遺構は標高海拔21.5m前後に存在し、奈良時代、平安時代、鎌倉時代、戦国時代の4時期の遺構が検出された。下面の遺構は標高海拔21m前後に存在し、古墳時代の遺構が検出された。

以下時代順に調査結果の概要を報告する。

古墳時代 この時期の遺構には水田跡(?)と竪穴状遺構(B区S B501)がある。B区遺跡中央部で北東・南西方向に走る水路(B区 S D504)と、B区中央部南側で南東部にかけての落ち込み(B区NR501)があり、2つ遺構の間の高まりに水田跡(?)が存在した。畦畔は



第1図 調査区位置図 (1:5,000)

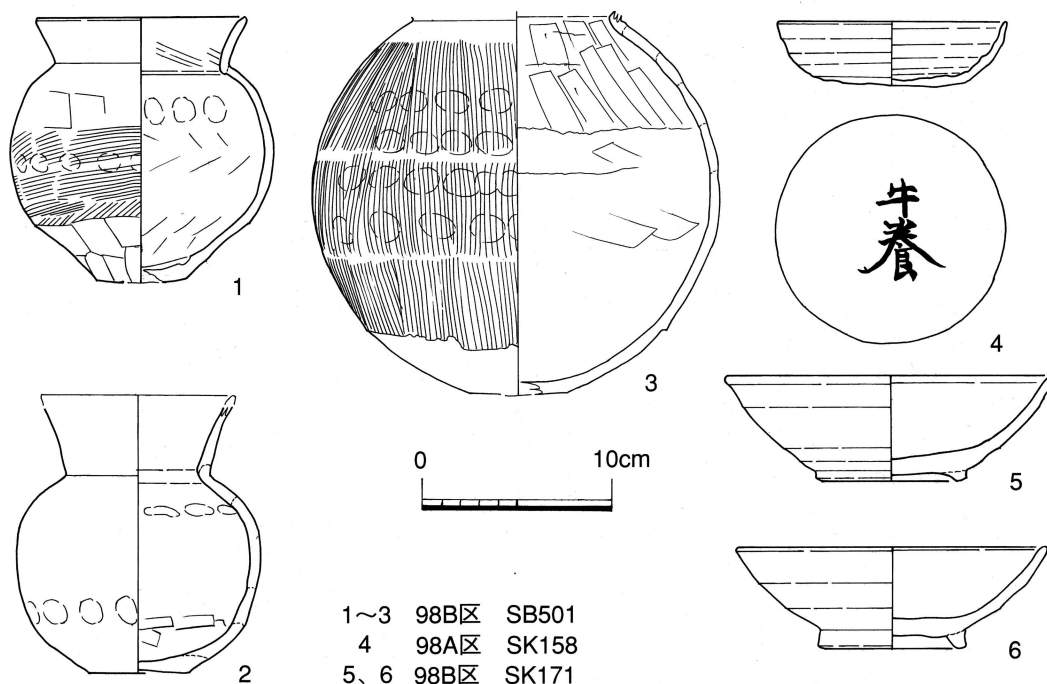
S D 504に規定される形で検出され、水田区画の規模は4 m²～10 m²を計る。小畦の残存高は最大で10cmを測る。B区南側には地床炉を伴った竪穴状遺構があり、ここでは松河戸Ⅱ式併行期の土師器壺(1・2)、甕(3) 高杯などが出土した。中でも、床面直上から出土した土師器のうち、2つの直口壺は、入子状に重なって出土した(1・2)。

奈良時代 A区SK158より「牛養」と墨書された須恵器(4)が出土した。時期は8世紀中葉。「牛養」についてはいろいろな意味が考えられるが、人名とするのが一番妥当であろうか。

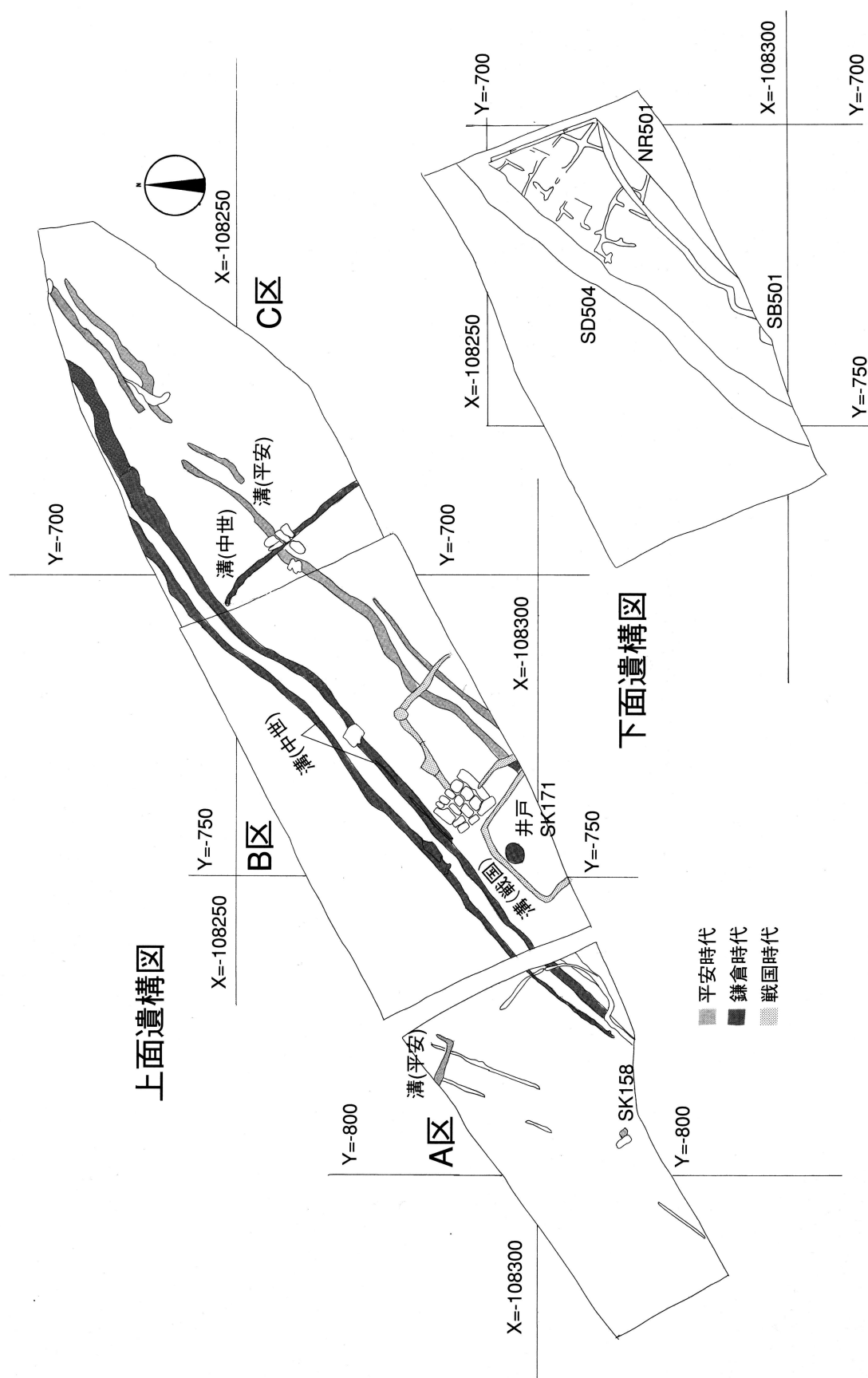
平安時代 主要な遺構として、B区中央部とC区北東部との間を平行して走る2条の溝とA区北東部で検出されたL字形の区画溝1条がある。いずれの遺構からも灰釉陶器が出土した。2本の平行した溝は左右に少し振れながらも約2 m間隔で続くので、道と考えられる。

鎌倉時代 上面の遺構の中心の時代である。主な遺構としてA区からC区まで貫く2本の平行した溝、およびC区でこの溝に直角に交わる溝、B区の井戸があり、その他多くの溝、土坑を検出した。2本の平行した溝は約3～4 m間隔で続き、これも道と考えられる。時期は12～13世紀。井戸(B区SK171)はB区南西部で検出された。SK171は井戸側に曲物を4段に積み重ねた形式の井戸である。時期は12世紀後半。廃絶したときに捨てられたであろう板材が横に置いてあり、その上から灰釉系陶器(5・6)などが出土した。

戦国時代 B区南側より、コの字形の区画溝2本が検出された。区画は1辺が約15mあり、区画内にピット群があることから、屋敷地と考えられる。また、B区北西側の落ち込み部分の埋土中より、内耳鍋など戦国時代の遺物や、永楽銭、陶丸などが出土した。(後藤英史)



第2図 出土遺物実測図(1:4)



第3図 調査区主要遺構図 (1:1,000)

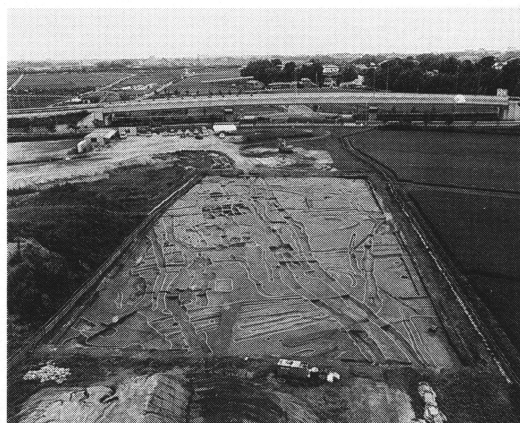
まとめ 今回の調査成果を要約すると、以下の通りである。

- 1 古墳時代中期の竪穴状遺構と水田跡と思われる遺構群を確認した。水田跡は旧流路に挟まれた微高地上に展開するが、畦畔は部分的に検出されるに留まったこと、水田耕作土などからプラントオパールが確認されなかったことなどから、なお慎重に検討を要する遺構群である。また、竪穴状遺構は規模が小さいことと遺物出土状態が特徴的であることから、農耕祭祀に伴う遺構であると想像できる。これらの状況からみて、古墳時代の本遺跡は隣接する郷上遺跡の古墳時代集落に付随する生産遺跡の可能性が考えられよう。
- 2 平安、鎌倉時代の中心的な遺構として、ほぼ調査区全体を貫く形で北東から南西に向けて走る道路が2条検出された。道路以外の主要な遺構としては区画溝と井戸がわずかに存在する程度である。該期の遺物が僅少であること、平行する非常に浅い溝が多数認められたことなどから、本遺跡が居住域であったとは考えにくく、畑などの耕作地か荒蕪地の中に道路が走っているという光景が想定される。
- 3 戦国時代の状況も鎌倉時代とほぼ同様であるが、道路の南側に一辺が15m前後の方形区画が2つ出現する。16世紀代の比較的短い期間に営まれた居住域の可能性が考えられ、隣接する郷上遺跡の集落縁辺部に相当すると推定できる。

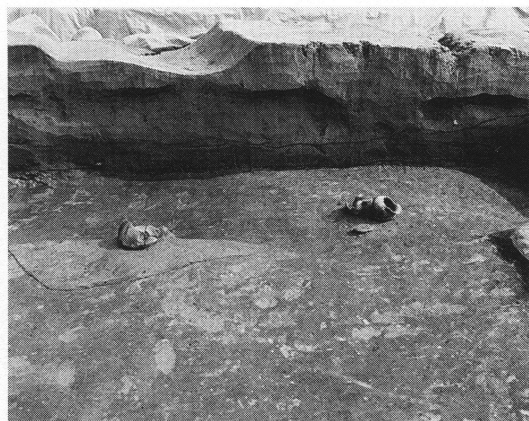
このように、本遺跡を考えるためには各時期の集落跡となっている郷上遺跡との関連を中心に検討していく必要があるだろう。
(鈴木正貴)



A区上面全景（南西から）



B区上面全景（北東から）



B区下面 S B 501遺物出土状況



B区下面全景（北東から）